



from New York



セントラルパークの木々と高層ビル群

ニューヨークの緑

ニューヨークの緑といえば、セントラルパークを思い浮かべる方も多いことでしょう。生い茂る木々と高層ビルの組み合わせは、ニューヨークの魅力の一つです。近年は、鉄道の路線跡地を活かし、緑地帯として整備されたハイラインと呼ばれる遊歩道も人気を集めています。

都市部から少し足を延ばせば、ニューヨーク州の広大な自然が広がっています。州の森林面積は日本の国土の約2割に匹敵します。州立公園や山々を抜ける散策道（トレイル）は緑と野生動物の宝庫で、普段は多忙なニューヨーカーたちにとっての安らぎの場です。

ニューヨークにはもう一つ、忘れてはならない緑（グリーン）があります。州西部のナイアガラの滝には、五大湖から豊富な水量＝グリーンエネルギーが注ぎ込まれています。主力のロバート・モーゼス水力発電所は州内トップクラスの発電量を誇ります。

ナイアガラの滝は、グリーンイノベーションの舞台でもありました。今から100年以上前の発電事業では、発明家トーマス・エジソンが、自ら開発した直流方式の利用を主張しました。これに対し、現在のクオアチアからの移民であるニコラ・テスラは、当時の技術にフィットした効率性の高い交流方式を提案し、エジソンとの電流戦争に競り勝ちました。その後、交流方式の実用性はナイアガラ事業で評価され、黎明期^{れいめい}の電力普及を強く後押ししました。

ニューヨークは、新型コロナウイルスの影響を最も強く受けたエリアの一つです。しかし、街の緑は人々に癒やしと勇気を与え、デジタル技術を活用したwithコロナへの環境適応などと共に、困難に打ち^か克つ力の源になったように感じます。ニューヨークの緑は、この街のresilience（復元力）を支える原動力でもあるのです。（日本銀行ニューヨーク事務所）

*本コーナーは海外で働く日本銀行職員または日本銀行からの出向者が執筆しています。



ニューヨークに多数生息する野生の鹿



ナイアガラの豊富な水量